

会派の活動記録

紙面の制約上、全ての活動は掲載できませんが、その一部を紹介します！

豪雨災害復旧・復興に向けて

本県は全国で唯一、4年連続で大雨特別警報が出されました。特に県南の朝倉・久留米、そして昨年は大牟田で大きな被害。災害後現地に赴き、農業者や自治体・関係者からヒアリングを行い、県政へ反映すべく、その後知事への要望、議会質問等を行いました。



①久留米市北野町や大刀洗町の被災箇所。JA 青年部の方々と現地調査と意見交換。



②地元 JA や農政連の方々と意見交換。国や県の制度改善を求める声があり、会議や議会質問を通じて実現を図りました。



③現地調査の様子を日本農業新聞に取上げて頂きました。マスコミに取上げてもらうことで課題に光が当たり、解決の糸口になることも多々あります。そのためにも積極的な情報発信に努めています。



④現地調査などを踏まえ、現場の意見を基に知事に要請を行いました。要請と併せて、議会の質問でも多くの点で要請・提案を行っています。



議会活動の一コマ



議員の活動は多岐に亘りますが、大まかに活動場所でくると
①地元での活動
②議会での活動
③それ以外 に分けられます。
②の場合は、知事はじめとする執行部と県政課題について議論を行ったり、地元活動で頂いた要望などを伝えたりします。緑友会は都市部より地方部選出の議員が多く、地元と議会の往復もなかなか大変ですが、気合と情熱で頑張っています！

県政に関する緊急要望



小川知事の病气辞職を受け、県政の停滞を招かないよう、知事職務代理者の服部副知事に緊急要望。コロナ対策や県政全体につき意見を交わしました。

定例議会に向けて



写真はコロナ前のものですが、議会前には各議員が地元活動や各自の専門分野で得た県政課題を報告。それをもとに議会では知事や教育長、県警本部長に行う質問を練っていきます。より効果的な聞き方はないか、もっと掘り下げるべきでは、他の分野への影響はなど、異なる視点が重なることで質問に広がりや深みが生れます。

福岡県議会

緑友会

福岡県議団

りよくゆうかい

任期前半＆新型コロナ対策

また、コロナに加え、知事の突然の病气辞職により、福岡県政は二重の意味で非常事態です。県民の皆様も不安をお持ちだと思ひます。

しかし、不幸中の幸いですが、服部副知事が知事の職務代理を立派に務められています。服部副知事は、県職員一筋の経験と、インフラ整備に取り組み、本庁財政課で様々な分野の予算編成に取り組んだ後、財政課長、総務部次長の要職を歴任し、福祉労働部長を経て、副知事として小川知事の誕生から退任まで、身を粉にして支えてこられました。今議会でも職務代理者として、県政に精通した誠実かつ的確な答弁をいただき、当会派の提言も必ず県政に反映していただくと確信しました。

我々は、この思いを実現させ、県民福祉の向上と農林水産業は、我々本県産業を一層発展させるため、同氏とともに今後も全力で県政に取り組んでまいります。

終わりに、新型コロナの突然の発生により、これまでの社会は一変してしまいましたが、我々は、この国難を越えていかなくてはなりません。今までの日常を取戻すためには、どこかで大胆な変化を受け入れる必要もあるでしょう。人類はこれまで幾多の試練に耐えてきました。その最大の要因は、変化に適応出来たからだと言われています。我々のDNAにはその経験が刻まれています。その力が備わっているのです。それを信じましょう。緑友会一同、これまでの経験をもとに、福岡県の更なる発展のため活動が続けて参ります。今後とも県政発展へのご支援ご協力をお願い致します。

緑友会福岡県議団 会長 井上 忠敏

緑友会 事務所のご案内

〒812-0045 福岡市博多区東公園7-7

福岡県庁議会棟内 緑友会福岡県議団



お問合せ

092-643-3803

県政報告書

会長あいさつ

福岡県民のみなさま、こんにちは。我々は福岡県議会における会派「緑友会福岡県議団」です。緑友会は「食と緑を守る」をスローガンに、農業をはじめとする第一次産業を中心に、あらゆる県政課題の解決・県政の更なる発展を目指しています。

わが国には「農は国の基（もと）」という、古来から伝わる素晴らしい言葉があるように、農業は日本の精神と文化の根幹で、環境を守り食糧を与えてくれる命の産業です。

ところが近年、農業を取り巻く情勢は大変厳しく、加えて深刻なのが、食料自給率の低下です。現在、我が国の食料自給率は37%と輸入頼りです。コロナ禍でのマスク不足で大混乱に陥りましたが、もし不足したものが食料であったら大変なことです。

農業は命と暮らしの原点であり、何が何でも守ってゆかなければなりません。農業が果たしてきた役割や大切さを広く県民の皆さんに伝えて行くことが大切です。我が会派は、特にこのことを念頭に、全力で活動して参ります。

さてこの度、緑友会の活動の一環を報告すべく、この県政報告書を作成しました。任期前半2年間の活動として、今なお猛威を振るう新型コロナウイルス対策について掲載しています。紙面の都合上、全ての活動を報告できないのが残念であります。が、詳細はインターネットでも紹介していますので、是非そちらでもご確認下さい。

所属議員 ①選出地域・期数 ②所属常任委員会 ③主な役職 ④ひとこと（重点分野など）



幹事長
神崎 聡
(こうざき さとし)

- ①田川郡（3期）
- ②総務企画地域振興委員会《委員長》
- ③(公財)福岡県国際交流センター理事
- ④元IT会社社長で、幅広い人脈とあらゆる分野に精通し、政策力は随一。



副会長
吉武 邦彦
(よしたけ くにひこ)

- ①宗像市（3期）
- ②建築都市委員会
- ③日中議連会長、福岡県都市計画審議会委員
- ④元観光協会会長、観光施策に精通。市スポーツ協会会長でラグビーはじめスポーツ振興、漁業、環境分野にも精力。



会長
井上 忠敏
(いのうえ ただとし)

- ①小郡市・三井郡（6期）
- ②警察委員会
- ③有明海沿岸インフラ整備3県議連連絡会議長、自民党福岡県連副会長
- ④豊富な経験と豊かな人脈を活かし活動。特に農業、商工業、インフラ関係に尽力。



政策審議会副会長
堀 大助
(ほり だいすけ)

- ①行橋市（3期）
- ②厚生労働環境委員会
- ③防衛議連副会長、議員提案政策条例検討会議委員
- ④弁護士・予備自衛官、法制度や危機対応に重点。マラソンランナーとしてスポーツ振興にも取組む。



政策審議会副会長
江口 善明
(えぐち よしあき)

- ①久留米市（3期）
- ②農林水産委員会《副委員長》
- ③議会運営委員会理事
- ④元テレビ局記者、政治や報道の動きを素早く察知し活動に反映。先を読む力に随一。



永川 俊彦
(えがわ としひこ)

- ①大牟田市（1期）
- ②県民生活商工委員会
- ③スポーツ議連副会長、日中議連事務局次長
- ④元大牟田JC理事長で、まちづくりや中小企業の経営支援に精通。4児の父として子育て支援にも取組む。



安部 弘彦
(あべ ひろひこ)

- ①遠賀郡（1期）
- ②文教委員会
- ③日米議連副会長、産炭地域活性化対策議連幹事
- ④半導体製造機器開発会社顧問、半導体関連やIT技術など国内外の企業支援に精通。商取引にも詳しい。



小川 誠嗣
(おがわ せいじ)

- ①うきは市（2期）
- ②農林水産委員会
- ③福岡県農政連常任委員、果樹振興議連副会長
- ④元市長公室長、財政制度など行政全般に精通。農家兼農政連常任委員で農業エキスパート。

4月11日（日）は福岡県知事・県議会議員補欠※選挙です。皆さん投票に行きましょう。
※福岡市西区・久留米市・八女市 / 八女郡